

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

# からうら

No.43

2008.4.30発行

27億5,150万円の  
20年度予算を可決  
委員会ハイライト  
視察研修報告

2

4

5

防災シリーズ・交流活動紹介

6

全議員が一般質問

7▶15

はばたけ

ちびっ子アスリート

16



阿波勝浦八景から 鶴林寺

# 前年比 8.4%減 27億5,150万円を可決

## ◎ 一般会計予算の主なもの ◎

- 町単道路改良費 ..... 5,000万円  
(前年比 1,500万円増)
- 〈新規事業として〉
- 美しい森林づくり事業 ..... 1,000万円
- 町民体育館改築工事費 ..... 425万円  
(スポーツクラブ事務所を整備)
- クリーンセンター解体積立金 ..... 1,500万円
- 提案公募型補助事業 ..... 100万円



水源確保のための「美しい森林づくり事業」

## 特別会計予算総額

前年比 20.9%減 25億3,100万円

## ◎ 特別会計予算の内訳 ◎

- 介護保険 ..... 6億3,541万円
- 簡易水道 ..... 5,864万円
- 国民健康保険 ..... 8億3,318万円
- 住宅新築資金 ..... 645万円
- 農業集落排水 ..... 2,418万円
- 老人保険 ..... 1億 593万円
- 勝浦病院 ..... 7億9,500万円
- 後期高齢者医療 ..... 7,219万円  
(4月からこの制度が始まります。)

## 3月定例会

# 前年度より二億五千万円減 住民サービスの低下にならないか

三月定例会は、十日から二十一日までの十二日間開かれ、十九年度補正予算や二十年度予算、条例の一部改正などについて審議し、全員一致で可決しました。また、勝浦町監査委員の選任など三件の人事案についても全員一致で同意しました。一般質問には全議員が登壇し、二十年度予算案などを中心に町の姿勢を問いました。



# 一般会計



スポーツクラブハウスの整備予定場所（町民体育館）

## 議案に対する主な質疑

### 議案第九号（クリーンセンター処分条例）

**問** クリーンセンターの休止により、今後、地元  
の周辺対策はどうするのか。

**答** また、跡地利用と高額な解体費用への対応は、  
今後の周辺対策と跡地の有効利用については、  
地元連絡協議会などと協議し対応したい。  
解体費用が約七千万円必要だが、基金を四年  
間積み立て平成二十五年に解体する予定だ。

### 議案第二十二号（二十年度一般会計予算）

**問** スポーツクラブの設立に向けて協議中だが、  
クラブハウス整備は時期尚早ではないか。

**答** クラブハウス整備については町の支援として  
必要であり、今後、運営委員会や設立準備委員  
会で協議したい。

**問** 農業振興費が前年比マイナスになっているが、  
十分な対応が出来るのか。

**答** 前年対比三百六十二万円減額になっているが、  
みかんマルチの補助などの要望が少なくなっ  
てきており、本年度は対応出来る。

**問** 図書館の備品購入費が一時期から比べると  
三割以上減っている。読書や生涯学習の必要  
性が高まるなか充実すべきでは。

**答** 図書購入には利用者の要望を取り入れてい  
る。

また、県立図書館から貸し出してもらい、不  
便をかけないよう対応して行く。

### 議案第二十八号（簡易水道特別会計予算）

**問** 簡易水道の町営化について職員の体制は。  
また、事故などの対応は。

**答** 現職員体制で対応する。  
突発的な事故などの対応は従来どおりとする。

### 勝浦町監査委員

溝田 義昭氏（横瀬）

の選任に同意しました。

### 勝浦町人権擁護委員

美馬 晴幸氏（与川内）

の推せんに同意しました。

### 勝浦町選挙管理委員当選者

市原宏之氏（久国） 勝谷克己氏（星谷）

花房恒夫氏（生名） 中川進夫氏（坂本）

## 総務産建常任委員会

### 十九年度予算

### 一億九千万円の減額補正

三月四日に委員会を開き、条例の一部改正や十九年度補正予算、二十年度一般、特別会計予算などについて説明があり審議しました。

**参事から** 十九年度、二十年度予算について説明がありました。

**問** 十九年度予算が一億九千万円も減額補正することになった要因は何か。

**答** 予定していた国、県の補助事業の減が要因の一つである。

**問** 二十年度予算は前年対比八・四％の減である。各課の要求はなかつたのか。

**答** 各課の事業も少なく、県財政の影響もある。また、体育館の耐震工事等も終了し、ハード事業も少なくなつた。

**産業建設課長から** 簡易水道町営化について説明がありました。

## 問

二十年度から各地区の簡易水道が町営化になるが、各地区に周知徹底出来ているのか。また、予算については。

**答** 組合長会議を開き周知してきた。

水道使用料を町に入れてもらつて、各水道組合に指定管理委託料として支払つて行く。



簡易水道の貯水池（星谷）

## 町道の路線認定 生名坊ヶ谷支線

委員全員で現地踏査を実施しました。

**委員会として** 三月定例会に提案することに同意しました。

## 文教厚生常任委員会

三月五日に委員会を開き各担当課から補正予算、新年度予算、条例改正などについて説明があり審議しました。

**病院事務局長から** 薬の処方などについて説明がありました。

**問** 薬の取り扱いについて、今までどおり院内でするのか、院外処方を考えているのか。

また、新年度予算で医薬外収益が減っているがその原因は。

**答** 薬購入等の経営努力で収益も上がっており、当面は院内処方を続けて行きたい。

医薬外収益の減は、起債の繰上げ償還による一般会計からの繰入金金の減が主なものである。

**教育委員会事務局長から** スポーツクラブ設立などについて説明がありました。

**問** スポーツクラブ設立により体育協会との関係はどうなるのか。

勝浦病院は今後も院内処方を継続



**答** 体育協会は競技性を重視しており、町民全体の健康までは考えられないとの声もあるが、町の行事等の振興には今までどおり協力をお願いしたい。

**委員会として** 三月定例会に提案することに同意しました。

## 視察1

### 「すくすく 保育園」



平成18年に民営化され入所児童数42人、職員15人で運営している。  
 民営化のメリットは特別保育として時間延長や一時保育、わんぱく保育が可能になったことや、軽食の提供ができるようになったことである。  
 デメリットは近くに競合する施設が多くあり、5歳児からは幼稚園へ通うため、園児の確保に努めなければならないことや、予算的に施設の充実がなかなか難しいことがあるとの説明を受けた。  
 議会としては、現場の生の声を参考にサービスの充実が図れるよう提言して行きたい。

# 議会行政視察

【鳴門市】一月三十一日



## 視察2

### 道の駅 「第九の里」



県道十二号線沿いにあり、ドイツ館と賀川豊彦記念館が併設され、一番札所（霊山寺）と二番札所（極楽寺）の間にあるなど立地条件に恵まれている。  
 さらに昨年は映画「バルトの楽園」のロケ地になり観光客が増えたことから黒字経営になっている。物産館ではドイツ風パンやワインナーなど外にはないものを販売しているのが特徴的であった。  
 設立には補助金の適用に努力し、運営には県との負担金契約が予定通りいかない問題点があるとの説明を受けた。  
 議会としては町費の負担が最小限になるようチェックし、特色ある施設として効果を発揮できるように提言して行きたい。

町議会は一月三十一日、保育所民営化と「道の駅」建設の参考とするため鳴門市の視察を行った。  
 午前中に鳴門市役所で、子育て支援策や保育所民営化の経緯の説明を受け、午後から民営化された「すくすく保育園」と道の駅「第九の里」を視察した。





## 防災シリーズ

今回から各地区における防災活動を紹介します。

### 『生名自主防災組織』

生名地区の自主防災組織は、平成十七年十月に結成されました。「自分たちの地域は自分たちで守ろう」との連帯意識に基づき、消防団への協力や、初期消火、防災訓練、防災広報等の事業を行うことを目的としています。

当初から地域コミュニティを大切にしており、初めて実施された



子供も参加の炊き出し訓練



初期消火の放水訓練

全町一斉の防災訓練では、生名災害対策本部（生名センター）において全体の情報を把握しながら、隣組単位では安否確認を基本として実施しました。

また、子どもたちと共に炊き出し訓練を実施するなど多くの参加者もあり、防災意識を高めることができました。

今後の防災訓練は南海、東南海地震だけでなく、あらゆる災害を想定して、子どもから大人まで地域が一体となって、気楽に参加出来るよう取り組んで行きたいと思っています。  
（生名区長）

## 交流活動紹介

町内各地で自主的な交流活動が活発になりました。今後、随時紙面で紹介して行きます。

### 第1回 『生名ロマンの会』



生名ロマン街道

生名ロマンの会は、地域の活性化のためイベントを通じて住民の絆、団結を強め、町内外の団体とも交流を深めるために平成15年に結成されました。

一番のイベントは「さくら祭り」で、生名谷川改修工事の完成を記念し、地域の大先輩たちが植えた桜並木を地域の宝として大切にするため提灯やイルミネーションで飾付け、毎年4月、第1日曜日に開催しています。

また、近くの人形文化交流館において「勝浦ふるさとさくら祭り」として多彩な芸能を取り入れた催しも開催し、町内の一大イベントとして定着しつつあります。

今後とも、地域住民と志を一つにし、町内外との交流をさらに深めて行きたいと思います。

会長 戸川 幹雄

## 限界の町に ならないために

### 農産物を生かした 産業の創出を

(副町長)

国清 一 治議員



**問**

町は、不透明な市町村合併論議のなか財政も厳しく、毎年予算が減り続け、二十年度は三十億円を大幅に切っている。新たな事業も出来ないなど随所に住民サービスの低下が出ており「寂しい、活力のない、夢のない限界の町」に向かっている。そうならないために、今から基

幹産業を中心とした産業振興の再編を図り、観光・交流による活性化など農・商・工連携を組入れた「勝浦再生戦略」に取り組む必要があるのでは。

**答** 町長

農業振興に向けてJ.A.、県、関係者の会議を開き勝浦農業の将来を考えて行きたい。

**答** 副町長

農・商・工連携については県が設置を予定している「連携アドバイザー」を活用し、農産物を生かした産業創出に積極的に取り組んで行きたい。

また、国の「地域再生戦略」は、地方から国を変えるため地域から自発的に新

規事業を提案するもので、町も知恵と工夫で取り組むたい。

### 防災基金の設置を

#### 積極的に研究したい

(参事)

**問**

消防操法大会や全町民参加の防災訓練が計画されているが、その日程と内容は、また、防災対策、防災意識の高揚など充実した訓練

に備えて「防災基金」を設置してはどうか。

**答** 参事

消防操法大会は七月十三日に吉野川運動公園において開催され、町からは第八分団が出場する。防災訓練は、九月六日に計画しており、防災ヘリなどの参画も検討している。防災基金は町民の防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の基金積み立てなどの支援を積極的に研究したい。

### 子供の

### 遊び場確保を

#### 遊具設置を検討したい

(教育長)

**問**

町の条例には四カ所の農村公園、星谷運動公園がある。しかし、遊具がほとんど外されるなどその機能を果たしていない。今後の子育て支援として遊び場の確保は必要でないか。

**答** 教育長

星谷運動公園は、若い母親が寄りあうコミュニティの場にもなっている。遊具の設置については、安心して楽しく遊べるよう検討したい。



大会に向け操法訓練



稲井教育長



## 提案公募型補助事業 予算額は十分か

良いアイデアがあれば増額する (町長)

節 公一 議員



**問** 二十年度の新規事業として提案公募型補助事業があるが、住民参加事業として意義あるものにするには百万円の予算では少ないのではないか。  
また、案件によっては複数年かけて効果が出るものもある。期間はどのくらいか。

**答 町長** 初年度という事で百万円としたが、良いアイデアがあれば補正で対応したい。期間はとりあえず三年間は継続したい。

### 「道の駅」

### 町負担は増えないか

**問** 「道の駅」トイレの維持管理費は全額県の負担との説明であったが、確認が必要ではないか。  
また、仮に借地になった場合、県の施設は建てられるのか。

**答 副町長** トイレの管理費は清掃分が町の負担になる。施



過去には事故が…ガードレールが必要

設の建設は借地でも可能と確認できている。

### 町道の

### 交通安全対策

**問** 横瀬地区には保育所、小学校、専門学生寮、せせらぎ公園などがあり交通量が非常に多い。過去に多くの交通事故が発生して

おり、安全対策が急がれるが  
**答 産業建設課長** 新年度はカーブミラー、ガードレールの設置費用として五十万円増額している。交通安全協会と検討して進めて行く。

### 集落排水事業 将来への対応策は

**問** 供用から十年以上が過ぎ、設備の老朽化に伴うトラブルが起きている。修繕費の対応や地元との協議は。

また、毎年六百万円以上の金利負担を軽減するための上り償還の考えは。

**答 住民課長** 突発的なトラブルには町費で対応する。地元との協議会は最近持たれていないが新年度には開催する。

繰上げ償還は金利が5%以上のものでないとメリットがない。この事業の金利は四・七五%以下になっている。



松田住民課長



## 生き残りをかけ みかん産業の再生を

J Aや県と協議（町長）

山野忠男 議員



**問** 十九年度産のみかんは大豊作で価格の低迷が続いている。このままではますます経営は悪化し、離農をせざるを得ない農家が増える。今こそ行政がリーダーシップを発揮して、新しい政策をとる必要があるのでは。

**答** 産業建設課長

農業振興の補助金を追加して、鳥獣害防護柵の資材購入費など新たなメニューをつけている。技術及び営農指導については、J Aおよび県の農業支援センターで営農講座や現地指導をしていきたい。

**答** 町長

農業基盤を貴重な財産として残して行くため、引き続き人的体制づくりについてJ Aや県と協議をしていきたい。また、奨励品種の苗木代の補助金を予定している。

## 福祉施設の 利用について

町内の老人福祉施設状況は。

また、入所希望者で多くの待機者があるが、その解消と今後の方針は。

**答** 福祉課長

老人福祉施設

設として、特別養護老人ホーム「喜楽苑」、デイサービスセンター「オレンジ荘」、グループホーム「あゆの里」、



入所希望者が多い「喜楽苑」

生きがいデイサービス「みかんの郷」がある。入所については、介護の必要性と家族の状況等を評価して決めていくが、待機者の解消は難しい。緊急の場合はショートステイで対応している。



前田病院事務局長

**答** 病院事務局長

リハビリ施設として平成十四年に「コスモス」が開設され、定員は一日二十名で現在は余裕がある。

## 防災対策について

**問**

昼間は消防団員が極端に少なく消防力が低下している。そのため自主防災組織と併せて消防予備隊の結成をしてはどうか。

**答** 参事

また、A E Dの指導と訓練が必要ではないか。消防予備隊の結成は区、地元の消防団と十分協議をしながら、地域の実情にあった推進を図り昼間の消防力強化に努めたい。

**答** 副町長

A E Dは県、日赤、県医師会、消防関係が実施する講習会に参加できるように調整して行く。

## その他の質問

○ 地籍調査について

## 保育所民営化

### しないほうがいいのでは

#### 経費削減分で子育て

#### 支援の充実を (町長)

井出美智子議員



**問** 今、県下の過疎地において民営化しているところがあるのか。

都市部では幼稚園、公立保育所、民間保育所などと選べるが、過疎地では選択の余地が全くない。保育の質の低下も心配されるなど、民営化はしないほうがいいのではないか。

**答 副町長**

県内の過疎地では上勝町で指定管理者制度を導入している。

また、民営化により多様な保育サービスに柔軟性をもって対応出来る。

**答 町長**

民営化による経費削減で子育て支援の充実を図りたい。

### 住民税の還付

### 周知徹底を

### リストアップし周知

(参事)

**問**

国の税源移譲により、平成十九年中の所得が減って所得税が課税され

なくなった人は、申告により住民税が還付されるが制度が分かりにくい。町から該当者に通知すべきでないか。

**答 参事**

住民税還付の申告期間は七月一日から七月三十日までだが、町で対象者をリストアップして周知したい。

### 新規就農者支援事業 活用しやすい 制度に

**問**

農業の町単独補助事業の新規就農者支援事業は、これまで一度も利用されていない。制度の見直しを行い、活用出来るようにするべきでないか。

**答 産業建設課長**

この事業の採択には、国の就農施設資金を活用しなければ該当しない。また、県の審査会においてもハードルが高く農業技術の低い場合は認定されない。

**答 町長**

利用しやすい事業になるように検討したい。

### 食の安全確保を

**問**

最近、中国製冷凍の安全性が危ぐされているが、学校や病院給食に心配はないのか。

**答 教育委員会事務局長**

学校給食センターでは、食材の約七十%を地元産で賄っており、安全安心な地産地消に取り組んでおり、問題の食材は使用していない。

**答 病院事務局長**

勝浦病院においても万全の体制で衛生管理の徹底を図っており、問題の加工食品は一切使用していない。

### その他の質問

○提案公募型

補助事業の創設



谷添教育委員会事務局長



地元の食材で学校給食



## 後期高齢者医療制度

## 国民健康保険の税率は

現行程度になる  
ようにとどめる (参事)

森本 守議員



**問** 四月から後期高齢者医療制度が始まるが、健康診断はどうなるのか。

また、この制度への移行による国民健康保険の税率はどうなるのか。

**答** 福祉課長 健康

過去一年間に医療機関で受診していない人を対象に実施する。

**答** 参事

この制度により約七百五十人が国民健康保険から移行するので減収になる。税率変更すれば大きな負担になるが、普通調整交付金、または新たに作る前期高齢者交付金等により補てんする方針であるが、具体的にはまだ決まっていない。二年度については現行程度になるようにとどめる。



岩佐福祉課長

**問**

当初インターネットの速度が遅いと苦情が多数あったが、その後改善されたのか。

また、テレビだけしか見ない家庭には負担が大きいです。それはインターネットの接続料金を払わされているからか。弱いものいじめではないか。

ケーブルテレビ利用料  
高すぎるのでは

**答** 参事

現在使われているのはIP電話専用のアダプターであり、速い速度を求めている人は高性能のアダプターに交換すれば改善される。

また、センターの施設のスイッチ類の改善も行い、現在苦情はほとんどない。テレビとインターネット合わせて月額二千六百九十八円は安く、最良の方法だと思っっている。



分別が進むごみステーション

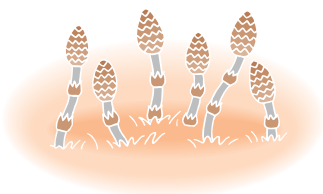
**問**

世界銀行の調べでは、日本は二酸化炭素の排出が三十%増えているが、町では削減のためにどのような取り組みをしているのか。

**答** 参事

庁舎内では節電や冷暖房温度の適正な設定に努めているほか、再生紙の利用を促進している。

また、全町的にはエコマーク商品の購入促進や生ごみの堆肥化、ごみの分別収集による処理量の削減などを実施している。今後も情報提供を行い小さいことから取り組んで行く。



## 沼江バイパス 町の協力体制は

一丸となつて  
用地交渉に臨む  
(産業建設課長)

森 健 議員



### 答 産業建設課長

一月に地権者等に事業や今後のスケジュールの説明を開いた。十九年度には境界立会等の作業を終え、新年度から用地交渉が本格化する。

バイパスは地権者全部の合意がなければ工事にかかれない。地権者との交渉は夜間の方が多くなると考えるが、町の重要施策なので、町も県、地元推進委員とともに一丸となつて用地交渉に臨む。

### 問

沼江バイパスの今後のスケジュールは、また、この事業推進の大前提は関係地区推進委員が用地取得に責任を持つということであった。地権者との交渉において、時間帯が夜間など不特定になることが予想されるが、町は具体的にどのような形で協力するのか。

## 県道阿南勝浦線 の拡幅は

問 小松島市との町境付近の県道拡幅はどうか。

### 答 産業建設課長

工事内容については地権者の理解も得ている。手続きに時間を要しているが、工事完成に向けて努力して行く。



倉坪産業建設課長

## 市町村 合併について

### 問

合併について町長は徳島新聞のアンケートに「今後必要になる」と答えている。一方、補正予算審議で「合併をしなければ」として、国から制裁

### 答 町長

的なことがあったか」との質問に「なかった」と答えている。県予算の中でも、県内地域間格差解消のため中山間地域への支援の必要性をあげている。勝浦町が大きな枠組みの中に入るまでに十分な基盤整備を行っていく必要があると思うが、

合併は避けられない重要な課題と認識している。現在、徳島東部市町村懇話会に出席し広域行政の議論を続けているが、合併議論の期は熟していないと思

町の合併審議会から徳島市を中心とした中核市案が示されている。

で行かざるを得ないが、住民、議会と協議しつつ最善の方策をとりたい。



拡幅が待たれる町境付近



## 地域ICT未来フェスタ

### まちづくりにどう生かすか

#### 地場産業の強化を図りたい

(産業建設課長)

松田 貴志 議員



#### 答 産業建設課長

ICTを利用し地場産品の販路拡大や共同受発注などの仕組みを構築し、地場産業の強化を図りたい。

また、地元企業や商工会、住民による商品開発や地産地消を推進したい。

#### 答 参事

十一月八、九日の二日間、ICTの利活用の事例や最

新機器の展示、講習会などを実施予定だが、今後、実行委員会を立ち上げ煮詰めて行く。

楽ビジョンについては、利用促進を図るため動画配信を強化することでアクセス数も増えてきた。今後も新鮮な情報をより多く配信することで利用率を高めて行きたい。



町職員の発案で始まったビックひな祭り

### まちづくりに町職員の積極参加を

#### 問

第二十回を迎えた

ビックひな祭りは町職員有志の発案で始まり、

今では町を代表するイベントとなつている。その当時の町の活性化にかける職員の想いが今の職員に伝わっているのか疑問だ。今後、

まちづくりに町職員が積極的に参加するためにも、給与カットにより積

#### 答 町長

職員には自立的に地域の行事などに積極的に参加し、住民の声を聞いて欲しい。基金を取り崩す予定はないが、町の活性化のために今回予算化している「提案公募型補助事業」を活用してもらいたい。

### 補助金の厳格化を

#### 問

行財政改革プランに補助金の見直し厳格化が明記されているが、この作業は進んでいるのか。

#### 答 参事

補助要綱に告を適正に精査しており、各課において事業内容に応じて補助金を出している。

#### 答 町長

十分に精査しているが、今後も補助金全般について補助団体との役割分担や連携を構築し、幅広い視点から見直しも含め取り組んで行く。

#### 問

十一月に開催される地域ICT未来フェスタで想定される取り組み内容は、

また、今後のまちづくりにどう生かして行くのか。

あまり利用されていない楽ビジョンを有効活用するためにも町民のニーズを調査し、利用促進を図るべきでは。



戸川 参事

## 二十年度予算の 重点施策は

### 財政健全化に取り組む（町長）

大西 一司 議員



#### 問

二十年度一般会計予算は前年度マイナス八・四%の二十七億五千五百五十万円だが、町長の「活気と活力のある住みよい町づくり」にどのように反映されているのか。

重点施策と今後の政策課題、財政見通しを示せ。

#### 答 町長

行財政改革を進め健全財

政をめざす。

また、沼江バイパスの早期完成や「道の駅」の全体構想を策定し、農・商・工の連携を図り、地域の活性化の起爆剤となるよう取り組む。

#### 答 参事

政策課題としては学校の耐震化に伴う改築問題や、消防の広域化への対応等である。

今後の財政見通しは、地方債残高が現在の四十億円から二十三年度には約三十億円に、実質公債比率も二十三%から八%程度になるなど改善される予測だ。



全国的に進む常備消防の広域化

### 消防広域化の 取り組みは

#### 取り組みは

県の方針にそって  
進める  
(町長)

#### 問

全国的に常備消防の救急活動の広域化が進んでいるが、本町は整備されている自治体に比べ機動力や活動内容に格差が生じている。特に救急活動における救急救命士の必要性は高い。多額の予算が必要な政策課題にどう取り組むのか。

#### 答 町長

県で広域化推進計画の策定委員会が開かれており、人口三十万人規模での組織体制を基本としている。本町も県の策定案にそって、常備消防の広域化に向け協議して行きたい。



中田町長

### 町道の 全町整備計画を

#### 全町整備計画を

現在の計画を再検討したい  
(町長)

#### 問

町道改良工事の要望は多いが部分的な補修や拡幅工事が主だ。今後、先を見据えた全町的な町道整備計画を立て、県道につながるアクセス道路整

#### 答 町長

備を中心とした町道整備マスタープランを策定しては、町道整備計画は十六年度に過疎地域自立促進計画の中で策定しているが、現状も変化し、計画の見直しも必要であり再検討して行きたい。

### 住基カード 経費が高額だが 利用状況は

#### 問

全国の住民基本台帳カードの普及率は一六%だ。本町は四百七十万円の高額な予算を計上しているが利用状況は。

#### 答 住民課長

現在の四十一年のカードを交付している。年金受給者に毎年の現状届けが不必要になる等のメリットがある。





## 二十年度予算

## 八・四％減の要因は

### 事業精査の結果（副町長）

西浜勝己議員



### 答 参事

行政改革による人件費の削減、公債費の繰上げ償還、

ごみ処理の小松島市への委託、農林水産業費の県補助金の大幅な削減などがあげられる。

### 答 副町長

町長査定等を通じて

事業を精査した結果である。

### 答 町長

行政改革で職員数も減つ

ているが、住民サービスの低下にならないよう今後も努めて行きたい。

## 提案公募型補助事業

## 行政の

## リーダーシップは

### 問

この補助事業については全く新しい試みとして評価できるが、行政が住民に意見を聞くことにウエイトを置くあまり、町長のリーダーシップの丸投げにならないか。

### 答 副町長

新たなコミュニティ

をめざし、官民協働による新しい地域創造のモデル的先駆的取り組みに対し、行政が支援を行うものである。新たな公共サービスの形成につながることや、地域の活性化の新機軸になることをねらいとしたものである。

## 保育所民営化

## 細心の配慮を

### 問

保育所民間委託を拙速にすべきでない。全国的にいろいろな事例が悪例として報道されている

なかで、万が一そう言う事に直面したときにだれが責任を取るのか。

### 答 副町長

弊害の実例について

は、認可外保育所に多く見られるが、町のめざす保育所は認可保育所で、責任は全て町にある。

今後、細心の注意を払い推進して行きたい。

## 「道の駅」

## 予算の限度額は

### 問

今、「道の駅」は検討委員会を立ち上げ取り組みをしている最中であるが、町として予算の限度額は。

### 答 副町長

予算の上限については、今後、検討委員会で協議して行きたい。

### 問

二十年度予算の見通しについて、十二月議会の答弁では、前年並みの三十億円程度は確保したいとのことであったが、三カ月後に八・四％減の二十七億五千万円の予算となっている。どこに要因があるのか。

また、住民サービスの低下にならないのか。



町が委託している小松島市ごみ焼却場



折野副町長

# はばだけ！ ちびっ子アスリート

## 少年サッカーチーム F・C 上勝クレイン



世界中で最も愛されているスポーツ、サッカー。今回は「国をも動かす」と言われ、人々を熱狂させるサッカーを楽しむ未来のJリーガー取材しました。

「F・C上勝クレイン」は勝浦町と上勝町の合同チームとして部員数24名で活動し、最近山崎監督のもとで確実に実力を上げて来ています。

キャプテンの高橋知希君（上勝小）にインタビューしました。

### ● 監督から一言 ●

一人は  
みんなのために  
みんなは  
一人のために



Q 最近の戦績は

A 健美堂大会で準優勝しました。

Q サッカーの魅力は

A ドリブルで相手を抜きシュートを決めたとき。

Q チームのモットーは

A 努力して楽しくプレイすること。

Q 今年の目標は

A 県大会で一勝すること。



### ～メンバー紹介～

6年	高橋知希	谷口泰我	野口祐人
	谷口明雅志	山本茉莉奈	高松汰良
	溝田希瑞菜	4年 尾田尚弥	3年 山崎統貴
5年	田村聡貴	北内 豪	尾田新星
	森脇直輝	岡本紘汰	谷 威吹
	鶴代達也	山下剛弥	柴野頭豊
	中村健太郎	鶴本拓海	2年 石木雄大
	青木秀磨	秋成 滯	鶴本裕太

□ は上勝小のメンバーです。

### 練習日時

◎毎週 火・木・土曜日

◎横瀬小学校、  
上勝小学校グラウンド  
18時から20時まで

【入部などの問い合わせ】  
鶴代 ☎ 42-4244まで



「生名ロマン街道」の桜並木。一度は見物に行かれましたか？ 町内には四季折々にたくさんのお花が咲き誇り、地域住民に癒しや和みを与えています。喜楽苑の敷地内には五千本のチューリップが咲き、秋には今山橋下流の勝浦川河川敷一面のコスモスが町を訪れる人々を迎えています。

今年度、住民と行政の協働によるまちづくりや地域の活性化を図ることを目的に、新たに提案公募型補助事業がスタートします。これを機会にもう一度地域に目を向け、眠っている地域資源を再認識し、将来には大輪の花となるような取り組みを提案してはごうでしょうか。（貴志）

### 編集後記

